

平成26年2月6日

平成26年3月期第3四半期決算について

武蔵野銀行（頭取 加藤喜久雄）の平成26年3月期第3四半期決算について、別添のとおりお知らせします。

なお、本件につきましては、本日東京証券取引所においても同時に発表しております。

報道機関からのお問い合わせ先

総合企画部 武川

TEL (048) 643-6468





平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社 武蔵野銀行
 コード番号 8336 URL <http://www.musashinobank.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役頭取
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 加藤 喜久雄
 (氏名) 長堀 和正
 TEL 048-641-6111
 特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	58,544	△1.3	14,472	△5.2	8,657	△3.6
25年3月期第3四半期	59,352	△3.1	15,272	△5.7	8,984	11.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 10,409百万円 (△6.2%) 25年3月期第3四半期 11,102百万円 (△21.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	258.20	258.05
25年3月期第3四半期	265.62	265.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,078,790	202,556	4.8
25年3月期	3,929,343	194,654	4.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 196,914百万円 25年3月期 189,445百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
26年3月期	—	35.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	75,600	△2.6	16,200	△14.5	10,000	△10.2	298.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	33,805,456 株	25年3月期	33,805,456 株
26年3月期3Q	277,112 株	25年3月期	277,504 株
26年3月期3Q	33,528,669 株	25年3月期3Q	33,826,139 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。
なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、現在当行が入手可能な情報及び現時点での判断、評価、事実認識に基づいた仮定を前提としており、当行としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後想定される様々な要因(国内外の経済、株式市場等の状況変化)によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報

- (1)連結経営成績に関する定性的情報…………… P. 2
- (2)連結財政状態に関する定性的情報…………… P. 2
- (3)連結業績予想に関する定性的情報…………… P. 2

2. 四半期連結財務諸表等

- (1)四半期連結貸借対照表…………… P. 3
- (2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…………… P. 4
- (3)継続企業の前提に関する注記…………… P. 6
- (4)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記…………… P. 6

3. 決算補足説明資料

- (1)損益の状況 …… (単体)…………… P. 7
- (2)金融再生法ベースのカテゴリによる開示 …… (単体)…………… P. 8
- (3)自己資本比率(国内基準) …… (単体・連結)…………… P. 9
- (4)預金等・預り資産及び貸出金の残高 …… (単体)…………… P. 10
- (5)時価のある有価証券の評価差額 …… (連結)…………… P. 11
- (6)デリバティブ取引 …… (連結)…………… P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経常収益は、投資信託関係手数料を主因に役務取引等収益が増加、また、株式等売却益を主因にその他経常収益が増加したものの、貸出金利息を主因とする資金運用収益が減少したこと等から前年同期比8億7百万円減少し585億44百万円となりました。

一方、経常費用は、店舗関連費用を主因に営業経費が増加する等となったものの、預金利息を主因に資金調達費用が減少、また、貸倒引当金繰入額を主因にその他経常費用が減少したこと等から前年同期比7百万円減少し440億72百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比7億99百万円減少し144億72百万円、四半期純利益は同3億27百万円減少し86億57百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比1,494億円増加し4兆787億円、純資産は前連結会計年度末比79億円増加し2,025億円となりました。

主要な勘定残高は、預金が前連結会計年度末比1,178億円増加し3兆7,418億円、貸出金が前連結会計年度末比478億円増加し2兆9,987億円となりました。有価証券は、国債の増加を中心に前連結会計年度末比623億円増加し7,845億円となりました。

銀行法第14条の2の規定に基づき算出した自己資本比率は、連結ベースで11.56%、単体ベースで11.23%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の通期連結業績予想については、平成25年11月8日公表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表等
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
現金預け金	178,775	141,692
コールローン及び買入手形	—	65,000
買入金銭債権	1,545	4,543
商品有価証券	282	310
金銭の信託	1,495	1,510
有価証券	722,195	784,549
貸出金	2,950,897	2,998,749
外国為替	2,545	2,600
リース債権及びリース投資資産	15,231	15,693
その他資産	23,442	31,552
有形固定資産	36,329	36,711
無形固定資産	3,300	2,945
繰延税金資産	3,588	2,340
支払承諾見返	9,294	8,940
貸倒引当金	△19,582	△18,348
資産の部合計	3,929,343	4,078,790
負債の部		
預金	3,624,000	3,741,841
譲渡性預金	25,510	38,530
コールマネー及び売渡手形	940	—
借入金	25,796	25,519
外国為替	114	64
社債	10,000	25,000
その他負債	26,148	24,319
賞与引当金	1,228	304
役員賞与引当金	13	7
退職給付引当金	5,545	5,631
利息返還損失引当金	108	89
睡眠預金払戻損失引当金	278	383
ポイント引当金	60	65
偶発損失引当金	709	599
再評価に係る繰延税金負債	4,937	4,937
支払承諾	9,294	8,940
負債の部合計	3,734,688	3,876,234
純資産の部		
資本金	45,743	45,743
資本剰余金	38,351	38,351
利益剰余金	81,735	87,875
自己株式	△816	△817
株主資本合計	165,013	171,153
その他有価証券評価差額金	18,202	18,908
繰延ヘッジ損益	△1,423	△800
土地再評価差額金	7,653	7,653
その他の包括利益累計額合計	24,431	25,761
新株予約権	37	50
少数株主持分	5,172	5,590
純資産の部合計	194,654	202,556
負債及び純資産の部合計	3,929,343	4,078,790

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
経常収益	59,352	58,544
資金運用収益	40,062	38,061
(うち貸出金利息)	34,300	31,824
(うち有価証券利息配当金)	5,499	5,957
役務取引等収益	7,294	8,028
その他業務収益	3,768	2,508
その他経常収益	8,225	9,946
経常費用	44,079	44,072
資金調達費用	2,956	2,517
(うち預金利息)	1,756	1,497
役務取引等費用	3,300	3,355
その他業務費用	751	1,214
営業経費	28,670	29,220
その他経常費用	8,400	7,764
経常利益	15,272	14,472
特別利益	1	0
固定資産処分益	1	0
特別損失	250	33
固定資産処分損	21	26
減損損失	229	6
その他の特別損失	—	0
税金等調整前四半期純利益	15,023	14,439
法人税、住民税及び事業税	5,339	4,978
法人税等調整額	477	426
法人税等合計	5,816	5,405
少数株主損益調整前四半期純利益	9,206	9,034
少数株主利益	221	377
四半期純利益	8,984	8,657

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,206	9,034
その他の包括利益	1,896	1,374
その他有価証券評価差額金	1,679	751
繰延ヘッジ損益	216	623
四半期包括利益	11,102	10,409
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,860	9,986
少数株主に係る四半期包括利益	241	422

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

3. 決算補足説明資料

(1) 損益の状況 … (単体)

① 実質業務純益 119 億円

実質業務純益は、預り資産手数料を主因に役務取引等利益が増加したものの、低位で推移する市場金利を背景に貸出金利息を主因とし資金利益が減少、また、債券5勘定戻を主因にその他業務利益が減少したこと等から、前年同期比30億円減少の119億円となりました。この結果、通期予想149億円に対する進捗率は79%で推移しております。

② 経常利益 126 億円

経常利益は、株式3勘定戻が増加するとともに不良債権処理費用が減少したこと等から、前年同期比11億円減少の126億円となりました。この結果、通期予想148億円に対する進捗率は85%で推移しております。

③ 四半期純利益 80 億円

四半期純利益は、前年同期比6億円減少の80億円となり、通期予想94億円に対する進捗率は85%で推移しております。

(単位：億円)

				平成26年3月期 通期 (予想)	平成25年3月期 通期 (実績)
	平成26年3月期 第3四半期 累計期間(A)	平成25年3月期 第3四半期 累計期間(B)	比較 (A-B)		
業 務 粗 利 益	395	422	△26		549
資 金 利 益	355	370	△15		489
役務取引等利益	33	27	6		38
その他業務利益	6	24	△17		21
うち債券5勘定戻	△4	17	△21		12
経 費 (除く臨時処理分) (△)	276	272	3		361
実 質 業 務 純 益 (一般貸倒引当金繰入前)	119	150	△30	149	188
コ ア 業 務 純 益	123	132	△8		176
一般貸倒引当金繰入額 (△)	0	△10	10		△11
業 務 純 益	118	160	△41		199
臨 時 損 益	7	△22	29		△27
株式3勘定戻	17	△2	20		△2
うち株式等償却 (△)	—	1	△1		1
不良債権処理費用 (△)	13	24	△11		30
償却債権取立益	2	4	△1		6
その他臨時損益	0	1	△0		△0
経 常 利 益	126	138	△11	148	171
特 別 損 益	△0	△0	0		△0
税引前四半期 (当期) 純利益	126	137	△11		170
法人税、住民税及び事業税 (△)	42	48	△5		60
法人税等調整額 (△)	2	2	0		4
法人税等合計 (△)	45	50	△4		65
四半期 (当期) 純利益	80	86	△6	94	105

(注1) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(注2) コア業務純益とは、業務純益に対し一般貸倒引当金繰入額と債券5勘定戻を加減調整したものです。

(注3) 平成26年3月期通期(予想)につきましては、平成25年11月8日公表の予想から変更はありません。

<参考>

与信関係費用(単体)

(単位:億円)

	平成26年3月期 第3四半期 累計期間(A)	平成25年3月期 第3四半期 累計期間(B)	比較 (A-B)
不良債権処理費用	13	24	△11
一般貸倒引当金繰入額	0	△10	10
償却債権取立益(△)	2	4	△1
合計	11	10	0

(2) 金融再生法ベースのカテゴリによる開示 … (単体)

金融再生法ベースの開示債権は、平成25年3月末比27億円減少し、720億円となりました。
不良債権比率につきましては、平成25年3月末比0.13%低下し、2.37%となりました。

(単位:億円)

(参考)(単位:億円)

	平成25年12月末		平成25年3月末
	平成25年12月末	平成25年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	108	△5	113
危険債権	449	2	447
要管理債権	162	△25	187
合計(開示債権額)	720	△27	747

(単位:%)

(参考)(単位:%)

	平成25年12月末	平成25年3月末比	平成25年3月末
総与信に占める開示債権額の比率 (不良債権比率)	2.37	△0.13	2.50

(注) 上記の平成25年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリにより分類しております。

また、各開示区分の金額は、平成25年9月末から同12月末までの倒産・不渡り等の客観的な事実及び行内格付の変動等を反映させた同12月末時点での当行の定める自己査定基準に基づく各残高を記載しております。

なお、新たに「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

(参考) 債務者区分との関係

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権・・・実質破綻先、破綻先の債権
- 危険債権・・・破綻懸念先の債権
- 要管理債権・・・要注意先債権のうち、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当する債権

(3) 自己資本比率(国内基準) … (単体・連結)

自己資本比率は、期限付き劣後債務の増加を主因に、単体ベースで平成25年3月末比+0.78%の11.23%、連結ベースでも+0.80%の11.56%となりました。
 基本的項目(Tier1)比率は、単体ベースで平成25年3月末比+0.10%の8.36%、連結ベースで+0.14%の8.64%となりました。

【単体】

(単位：百万円)

	平成25年12月末		平成25年3月末
		平成25年3月末比	
(1) 自己資本比率	11.23%	0.78%	10.45%
基本的項目(Tier1)比率	8.36%	0.10%	8.26%
(2) 基本的項目	169,490	6,847	162,643
(3) 補完的項目	58,094	14,981	43,113
(イ) うち土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	5,665	—	5,665
(ロ) うち一般貸倒引当金	8,429	△18	8,447
(ハ) うち期限付き劣後債務	44,000	15,000	29,000
(4) 控除項目	23	—	23
(5) 自己資本額 (2) + (3) - (4)	227,561	21,829	205,732
(6) リスク・アセット	2,025,309	57,857	1,967,451
(7) 総所要自己資本額 (6) × 4%	81,012	2,314	78,698

(参考) (単位：百万円)

平成25年3月末
10.45%
8.26%
162,643
43,113
5,665
8,447
29,000
23
205,732
1,967,451
78,698

【連結】

(単位：百万円)

	平成25年12月末		平成25年3月末
		平成25年3月末比	
(1) 自己資本比率	11.56%	0.80%	10.76%
基本的項目(Tier1)比率	8.64%	0.14%	8.50%
(2) 基本的項目	176,666	7,885	168,781
(3) 補完的項目	59,681	14,732	44,949
(イ) うち土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	5,665	—	5,665
(ロ) うち一般貸倒引当金	10,015	△267	10,283
(ハ) うち期限付き劣後債務	44,000	15,000	29,000
(4) 控除項目	23	—	23
(5) 自己資本額 (2) + (3) - (4)	236,324	22,617	213,706
(6) リスク・アセット	2,043,969	58,661	1,985,308
(7) 総所要自己資本額 (6) × 4%	81,758	2,346	79,412

(参考) (単位：百万円)

平成25年3月末
10.76%
8.50%
168,781
44,949
5,665
10,283
29,000
23
213,706
1,985,308
79,412

(4) 預金等・預り資産及び貸出金の残高…(単体)

①預金等及び預り資産

譲渡性預金を含めた預金等残高は、個人預金の増加を主因に、前年同月末比1,420億円(年率3.89%)増加し、3兆7,883億円となりました。

預り資産残高は、合計で前年同月末比452億円(年率7.79%)増加し、6,259億円となりました。

	(単位：億円、%)			(参考)(単位：億円)	
	平成25年 12月末	平成24年 12月末比	年間増加率	平成24年 12月末	平成25年 3月末
預金等残高	37,883	1,420	3.89	36,463	36,603
預金残高	37,498	1,336	3.69	36,162	36,348
うち個人預金残高	28,086	934	3.43	27,152	27,098
譲渡性預金残高	385	84	27.87	301	255
預り資産残高	6,259	452	7.79	5,807	6,037
投資信託残高	1,257	180	16.77	1,076	1,225
年金保険残高	3,380	440	14.98	2,939	3,063
国債残高	1,622	△168	△9.38	1,790	1,748
預金等・預り資産 合計	44,143	1,873	4.43	42,270	42,640

②貸出金

貸出金残高は、貸出資産の健全性を堅持する方針のもと、県内地元企業及び個人のお客さまのニーズにお応えすべく、積極的に取り組み良質な貸出金の増強に努めました結果、前年同月末比1,226億円(年率4.24%)増加し、3兆111億円となりました。

	(単位：億円、%)			(参考)(単位：億円)	
	平成25年 12月末	平成24年 12月末比	年間増加率	平成24年 12月末	平成25年 3月末
貸出金残高	30,111	1,226	4.24	28,885	29,626
うち中小企業等貸出金残高	23,344	360	1.56	22,983	23,323
うち住宅ローン残高	8,613	124	1.46	8,489	8,522

(5) 時価のある有価証券の評価差額 … (連結)

時価のある有価証券の評価損益は291億円のプラス、うち、株式の評価損益は150億円のプラス、債券の評価損益は113億円のプラスとなりました。

① その他有価証券

	(単位：億円) 平成25年12月末				(参考) (単位：億円) 平成25年3月末			
	四半期連結 貸借対照表 計上額	評価 差額	うち		連結 貸借対照表 計上額	評価 差額	うち	
			益	損			益	損
その他有価証券	7,629	291	307	15	6,982	279	289	9
株式	433	150	156	6	373	104	111	6
債券	6,280	113	118	5	5,781	154	155	0
その他	915	28	32	4	827	20	22	2

(注)「評価差額」及び「含み損益」は、帳簿価額(償却原価法適用後)と時価との差額を計上しております。

② 満期保有目的の債券

	(単位：億円) 平成25年12月末				(参考) (単位：億円) 平成25年3月末			
	時価	差額	うち		時価	差額	うち	
			益	損			益	損
満期保有目的の 債券	224	1	1	0	209	2	3	0

(注)「差額」及び「含み損益」は、帳簿価額(償却原価法適用後)と時価との差額を計上しております。

(6) デリバティブ取引 … (連結)

① 金利関連取引

区分	種類	(単位：億円) 平成25年12月末			(参考) (単位：億円) 平成25年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
金融商品取引所	金利先物	—	—	—	—	—	—
	金利オプション	—	—	—	—	—	—
店頭	金利スワップ	92	△2	△2	107	△2	△2
合計		—	△2	△2	—	△2	△2

(注)ヘッジ会計を適用しているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

② 通貨関連取引

区分	種類	(単位：億円) 平成25年12月末			(参考) (単位：億円) 平成25年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物	—	—	—	—	—	—
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—
店頭	通貨スワップ	223	△11	△11	93	△0	△0
	為替予約	32	△0	△0	21	△0	△0
合計		—	△11	△11	—	△0	△0

(注)ヘッジ会計を適用しているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

③株式関連取引、④債券関連取引、⑤商品関連取引及び⑥クレジット・デリバティブ取引については該当事項はありません。

以上